

- 問1 1980年代後半以降、日本の自動車メーカーが工場を海外へ進出させ、海外生産台数を急激に増加させた背景として、最も適切な理由を選びなさい。（2019年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 1980年代に円安が急激に進んだことで、海外での工場建設費用が国内での建設費用よりも大幅に安くなったから。 | 2. ブラザ合意以降の円高により輸出製品の価格競争力が低下したため、現地生産によってコストを抑える必要があったから。 | 3. 国内の労働力不足を解消するために、すべての自動車生産を海外へ移管して国内工場を完全に閉鎖する方針がとられたから。 | 4. 石油危機の発生によりガソリン価格が高騰したため、燃費の良い日本車を輸出するよりも現地で大型車を生産することが有利になったから。 |
|--|--|---|--|
- 問2 日本の産業構造において、サービス業や情報通信業などが分類される「第3次産業」に該当する業種の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------|-----------------------------|---------------|---------------------------|
| 1. 農業、林業、漁業 | 2. 卸売・小売業、金融・保険業、宿泊・飲食サービス業 | 3. 製造業、建設業、鉱業 | 4. 電気・ガス・水道業、食料品製造業、土木建築業 |
|-------------|-----------------------------|---------------|---------------------------|
- 問3 1950年から2010年までの日本の発電電力量の変化について、発電方式ごとの特徴を述べた文として正しいものはどれですか。（2024年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 高度経済成長期を通じて、豊富な森林資源を利用したバイオマス発電が火力発電に代わって主流となった。 | 2. 1950年代から一貫して水力発電が日本の総発電電力量の8割以上を占め続けている。 | 3. 1980年代には、原子力発電による発電電力量が水力発電を上回り、火力発電に次ぐ重要な電源となった。 | 4. 2000年代に入ると、核融合発電の実用化により、火力発電の割合はほぼゼロになった。 |
|---|---|--|--|
- 問4 1980年代から2000年までの日本の製造品出荷額の推移を説明した文として、正しいものはどれですか。（2016年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 繊維工業を中心とした軽工業の割合が、海外への輸出拡大により再び上昇した。 | 2. 重化学工業の中でも、特に機械工業の割合が全体の4割を超えるまでに成長した。 | 3. 主要な工業地帯における製造品出荷額の合計が、全国の5割未満に低下し続けた。 | 4. 石油化学工業などの化学工業の割合が、機械工業の割合を大きく上回ることになった。 |
|---|--|--|--|
- 問5 日本の農業において、冷涼な気候を利用して北海道などで盛んに行われており、乳牛を飼育して生乳や、バター・チーズなどの乳製品を生産する農業形態を何といいますか。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|---------|---------|
| 1. 酪農 | 2. 畜産 | 3. 近郊農業 | 4. 促成栽培 |
|-------|-------|---------|---------|
- 問6 若年層の流出にともなう人口減少が続く、地域社会の維持が困難になる現象について、この現象が進行した地域で生じている具体的な課題として最も適切な説明はどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 都市の中心部の人口が減少し、夜間の人口が昼間の人口を大幅に下回る現象が深刻化する。 | 2. 工場の進出が相次いだことで、大気汚染や水質汚濁などの公害が発生し、居住が困難になる。 | 3. 人口が急激に増加したことで、住宅地が不足し、地価が著しく上昇して生活が困窮する。 | 4. 労働力となる若者が減ることで、農業などの産業や、地域での共同作業を維持することが難しくなる。 |
|--|---|---|---|
- 問7 ある地域の地形図を確認したところ、山の南側に位置する傾斜地に「果樹園」の地図記号が数多く分布していました。このように、平地ではなくあえて山の斜面が果樹栽培に利用される理由として、地形的・気候的な特徴から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2015年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 北向きの斜面に比べて冬の冷たい季節風を直接受けるため、果実の糖度が高まりやすくなるため。 | 2. 平坦な土地に比べて土壌の水分が維持されやすく、水田から果樹園への転換が容易であるため。 | 3. 標高が高い斜面は年間を通じて気温が低く、害虫の発生を抑えて無農薬で栽培するのに適しているため | 4. 日当たりが良い南向きの斜面は日照時間を確保しやすく、さらに傾斜によって水はけが良くなるため。 |
|---|--|---|---|
- 問8 宮崎平野や高知平野で行われている、冬の温暖な気候を利用してビニールハウスなどで野菜の成長を早める「促成栽培」の特徴について説明したものとして、正しいものはどれですか。（2019年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 化学肥料の使用を抑え、自然の気候のみを利用することで環境負荷の少ない農業を目指している。 | 2. 広大な土地を利用して、機械化による生産コストの削減を徹底することで利益を上げている。 | 3. 出荷時期を他産地とずらすことで、市場価格が高い時期を狙って出荷し、収益性を高めている。 | 4. 大消費地である東京や大阪に隣接しているため、輸送距離の短縮による低価格販売を実現している。 |
|---|---|--|--|
- 問9 日本の貿易において、航空輸送は海上輸送に比べて輸出量が100分の1以下である一方、輸出額では約3分の1を占めています。このような統計上の特徴を持つ航空輸送を利用する主な理由と、適した製品の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2015年 長崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 輸送費用が安く大量輸送が可能なため、鉄鋼のように重くてかさばる製品を安価に運ぶのに適している。 | 2. 振動が少なく安全性が高いため、石炭のように広大なスペースを占有する原料を運ぶのに適している。 | 3. 輸送費用は高いものの輸送時間が短いため、電子部品のように重さの割に価格が高い製品を運ぶのに適している。 | 4. 天候の影響を受けず計画的に運べるため、原油のように特定の保管設備が必要な資源を運ぶのに適している。 |
|--|---|--|--|
- 問10 ある地形図において、高速道路のインターチェンジ付近に、歯車の記号で示される施設が多く集まっている様子が確認できた。このように内陸部の高速道路沿いにこれらの施設が立地する主な利点として、最も適切なものはどれか。（2017年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 1. 海外から原料を輸入するための大型船が接岸しやすい。 | 2. 生産に必要な大量の工業用水を河川から取り入れやすい。 | 3. 地価が高く、従業員のための住宅地を確保しやすい。 | 4. 大型トラックを利用した製品や部品の輸送がしやすい。 |
|------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|------------------------------|
- 問11 人口が約147万人と比較的小規模ながら、年間の外国人延べ宿泊者数が770万泊を超え、国際旅客定期便も100便以上が発着している都道府県があります。この県の統計的特色の背景として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 日本最大の国際貿易港があり、輸出入に携わる外国人の長期滞在が多いため。 | 2. 関西国際空港に近い立地を活かし、古都の文化財を巡る外国人観光客が急増しているため。 | 3. 成田国際空港を擁しており、首都圏へのアクセスが良いため外国人ビジネス客の宿泊が集中しているため。 | 4. 那覇空港などの国際便が充実しており、地理的にもアジア諸国に近いことから観光業が盛んであるため。 |
|--|--|---|--|
- 問12 昼夜間人口比率とは、ある地域の夜間人口（常住人口）100人あたりの昼間人口の割合を示す指標です。この比率が100を大きく上回っている地域について、その要因を説明したものとして最も適切なものはどれか選びなさい。（2023年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 豊かな自然環境を活かした農業が盛んであり、地域住民のほとんどがその地域内で働いているため。 | 2. 広大な住宅団地やマンション群が整備されており、夜間に帰宅して寝るための人口が多いため。 | 3. オフィス街や官公庁、学校などが集中しており、周辺地域から通勤・通学してくる人口が多いため。 | 4. 大規模な工場が郊外に立地しており、夜間勤務の労働者が他の地域から多く移り住んでいるため。 |
|--|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 プラザ合意以降の円高により輸出製品の価格競争力が低下したため、現地生産によってコストを抑える必要があったから。	1985年のプラザ合意以降、急激に円高が進んだことで、日本からの輸出製品の価格が海外で高くなり、競争力が低下しました。また、輸出の拡大が貿易摩擦を引き起こしたことも重なり、自動車メーカーは消費地で直接生産する「現地生産」へとシフトしました。これにより、為替変動のリスクを避けつつ、現地のニーズに合った製品を供給する体制が整えられました。
問2	答え 2 卸売・小売業、金融・保険業、宿泊・飲食サービス業	産業は大きく3つに分類されます。第1次産業は自然界から直接資源を採取する農業や漁業など、第2次産業はそれらを加工する製造業や建設業を指します。第3次産業はこれら以外の、形のないサービスを提供する産業の総称であり、商業（卸売・小売）や金融、情報通信、教育、医療などが含まれます。経済が発展するにつれて、第3次産業に従事する人の割合が高まる傾向にあります。
問3	答え 3 1980年代には、原子力発電による発電電力量が水力発電を上回り、火力発電に次ぐ重要な電源となった。	1950年代までは水力発電が中心でしたが、高度経済成長期の電力需要増加に対応するため火力発電が急増しました。さらに1970年代の石油危機を経て、代替エネルギーとして原子力発電の開発が推進された結果、1980年代には原子力による発電量が水力を追い抜くこととなりました。
問4	答え 2 重化学工業の中でも、特に機械工業の割合が全体の4割を超えるまでに成長した。	1980年から2000年にかけて、日本の工業は加工組立型の産業が主流となりました。統計数値を見ると、機械工業の割合は約32パーセントから約46パーセントへと大きく増加しており、重化学工業の中でも圧倒的なシェアを占めるようになっていきます。この時期、労働集約的な繊維工業などは、円高の影響や発展途上国の追い上げにより、日本国内での生産割合が低下しました。
問5	答え 1 酪農	乳牛から得られる生乳や、その加工品である乳製品の生産を目的とする農業を酪農と呼びます。肉用牛や豚、鶏などを育てる「畜産」の中でも、特に乳製品に特化した形態です。北海道の根釧台地などは、夏でも涼しく広い土地を確保できるため、この農業に非常に適しています。
問6	答え 4 労働力となる若者が減ることで、農業などの産業や、地域での共同作業を維持することが難しくなる。	過疎化が進むと、単に人が減るだけでなく、年齢構成のバランスが崩れて高齢化が加速します。これにより、伝統行事の継承や道路の清掃、災害時の助け合いといった、地域を維持するための「社会機能」が低下してしまうことが深刻な問題とされています。
問7	答え 4 日当たりが良い南向きの斜面は日照時間を確保しやすく、さらに傾斜によって水はけが良くなるため。	みかんなどの果樹栽培には、光合成を促進するための十分な太陽光と、根腐れを防ぐための良好な排水性（水はけ）が不可欠です。地形図上で斜面に果樹園が描かれる場合、太陽光を効率よく受けることができる「南向きの斜面」が選ばれるのが一般的です。また、平地は水がたまりやすく水田に適していますが、傾斜地は重力によって水が流れやすいため、果樹栽培に適した環境となります。
問8	答え 3 出荷時期を他産地とずらすことで、市場価格が高い時期を狙って出荷し、収益性を高めている。	促成栽培は、ビニールハウスの設置や暖房用の燃料費といったコストがかかる栽培方法です。そのため、単に作るだけでなく、販売戦略が重要になります。具体的には、他の地域からの出荷が少ない「冬から春」という時期にターゲットを絞って出荷を増やすことで、市場価格が高い状態を維持し、かかった経費以上の利益を得る工夫がなされています。輸送距離については、宮崎県や高知県は消費地から遠いため、保冷トラックや船舶などを利用した輸送技術の向上も併せて発展してきました。
問9	答え 3 輸送費用は高いものの輸送時間が短いため、電子部品のように重さの割に価格が高い製品を運ぶのに適している。	航空輸送は海上輸送と比較して、運賃などのコストが割高になる一方で、圧倒的な速達性（輸送時間の短さ）という利点があります。そのため、鮮度が求められる食料品のほか、電子部品や貴金属といった、製品の重量に対して取引価格が高い「高付加価値」な製品の輸送に向いています。逆に、重量が大きく単価が低い鉄鋼や資源などは、輸送コストを抑えるために海上輸送が利用されます。
問10	答え 4 大型トラックを利用した製品や部品の輸送がしやすい。	歯車の記号は工場を表す。近年、工場や工業団地は、広大な土地が得やすく地価が比較的安い内陸部の高速道路インターチェンジ付近に建設される傾向がある。最大の理由は、高速道路網を利用することで、トラックによる製品や部品の輸送時間を短縮し、全国各地へ効率的に運ぶことができるためである。船での輸入に有利なのは臨海部であり、工業用水の確保を主目的とする場合は大きな河川の近くなどが選ばれる。
問11	答え 4 那覇空港などの国際便が充実しており、地理的にもアジア諸国に近いことから観光業が盛んであるため。	沖縄県は、人口に対する外国人宿泊数の割合が極めて高いという特徴があります。これは、那覇空港をはじめとする空港整備が進んでいることに加え、地理的に東アジアや東南アジアに近いという利点を活かし、観光業を主要な産業として発展させてきたためです。独自の自然や文化を求めて多くの外国人が訪れています。
問12	答え 3 オフィス街や官公庁、学校などが集中しており、周辺地域から通勤・通学してくる人口が多いため。	昼夜間人口比率は、分母を夜間人口（常住人口）、分子を昼間人口として算出されます。数値が100を超えるということは、分子である昼間人口が夜間人口より多いことを意味します。これは、大都市の中心部のように事務所以外にも商業施設や学校が集中している地域で見られる現象であり、昼間に周辺の住宅地（ベッドタウン）から多くの人々が流入していることを示しています。